

2020

同友しずおか11

VOL.504

私の逸品

(有)M.C.S.KURITA

O LAND PARK SHISHIHARA
～オーランドパーク・シシハラ～



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体制の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体制をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡市葵区藤原町3丁目6-6F FAX/054-253-7820 E-mail/doyu@szdoyu.gr.jp

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1056名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
ふじのみやまさなり 富士宮正就	(株)CROSSFACT 保険代理業 (生命保険・損害保険、各種企業コンサルティング)	三島	高木 基
すえひろ まこと 末廣 誠	(株)ニュー・ヘルスフーズ 製造業・小売業 (健康食品製造・販売)	沼津	事務局・HPより
く の かずゆき 久野 和幸	(株)久野 レンタカー事業	富士宮	河原崎哲哉
おおいし はちじ 大石 八治	(株)ロジネットサポート 物流業 (運送・倉庫・流通加工)	志太	松葉 秀介
ないとう 内藤ゆみ子	SEISEN合同会社 楽器等販売卸、医療衛生用品販売卸、輸入雑貨販売卸 (中国を中心にアジア全域から輸入・輸出、交流事業、マッチングなどの斡旋、楽器・医療用品・衛生用品・一般雑貨等、受注を踏まえ全て取り扱う)	榛南	河内 崇文

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症関連支援策等 リンク先一覧

新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰り等でお困りの事業者の方へ

東海財務局HP内にて、県内での国、公的機関、金融機関及び地方公共団体の各支援策に係るリンク先一覧をご覧ください。右のQRコードよりぜひご覧ください。

(出典：東海財務局HP http://tokai.mof.go.jp/sizuoka/zimusyo_link_00001.htm)





O LAND PARK SHISHIHARA ～オーランドパーク・シシハラ～

(有)M.C.S.KURITA (静岡支部)

代表取締役 太田 誠氏



黄色い看板が目印



自らユンボに乗り作業する太田氏

今月の「私の逸品」は、(有)M.C.S.KURITA 代表取締役 太田誠氏がオープンしたオフロードバイクの練習場「O LAND PARK SHISHIHARA (オーランドパーク・シシハラ)」を紹介します。

バイクを置いていないのにバイクが売れるお店

オーランドパーク・シシハラは新東名新清水ICを下り、国道52号線沿いを身延方面に5分程走ったところにあります。清水区袖師町で「M.C.S.KURITA」というバイクショップを営む太田誠氏が2014年6月1日にオープンしました。「M.C.S.KURITA」は特にオフロードバイクメンテナンスにこだわり



切り拓いた林間コース

を持っており、太田氏を慕う顧客が全国から訪れ、店頭でバイクを一台も置いていないのにバイクが売れるといえます。ご子息である真成氏、幸仁氏もオフロードバイクの選手として活躍し、長男の真成氏は現在店長をしています。

広大な山林をひとりで切り開く

2014年の初め頃、オフロードバイクの練習場を探していた太田氏は、知り合いの経営者から、山林を管理する代わりに借り受けるという約束を取り付けました。それから周辺の住民の理解を得るため、数ヶ月間をかけ挨拶回り。その後、リースで借りたユンボで土を掘り、チェーンソーで木を伐り、ひとりで山林を切り開いていきました。

「ライダーの技術の認定をするアウトドアである練習場はコロナ禍でも好調で、年間1,000人程度のお客様が全国から訪れるそうです。太田氏は「コロナでデジタルとアナログの差が更に広がった。極端なアナログである自分は生き残っていきける」と確信を持って話します。来年は店を継いでから40年の節目。「ライダーの技術の認定をする

コロナ禍でも好調
オフロードの世界で日本一を目指す

同友会への入会が自信に

太田氏はちょうど練習場の開拓をしていた頃、同友会に入会し、同時に経営指針を創る会にも参加しました。理念と経営指針ができたことが自信につながり、闇雲に進んでいた道に光が差したと言います。「同友会に出会っていなくても練習場はできたと思うが、同友会のおかげで自信を持って進めることができました」と当時を振り返ります。

ような団体も立ち上げたい。この世界で日本一になりたいんだ」と夢を語りました。

取材・記事：藤本浩氏

プリントバリエー(株)・静岡支部



次男の大会用バイク。費用は総額500万

(有)M.C.S.KURITA

〒424-0037 静岡市清水区袖師町515-1

TEL : 054-364-6789

URL : <http://www.mcskurita.com>

創立 1942年

社員数 3名

入会年月 2014年1月

事業内容 オートバイ販売、修理 (バイク本体、バイク用品他)

省エネルギーで地域の「キタイ」に応える

(株)キタイ電気
代表取締役 北井 寛己氏 (中遠支部)



創業から現在まで

(株)キタイ電気は1999年創業、地元磐田市の電気店に勤めていた父が経営不振で辞めざるを得なくなった際、顧客や仕事仲間から開業を勧められたのが創業のきっかけです。以来21年間、地元で総合電気設備業を続けてきました。平成21年に法人化し、昨年2月に北井寛己氏が代表取締役に就任。本格的に経営を担うことになりました。

建物の電気設備工事が本業ですが、現在はエアコン設置工事や太陽光発電システム工事、LED照明切替工事など、業務の枠を拡げています。売上に波はありませんが、顧客は行政をメインに民間企業、一般個人と間口を広くすることで



北井 寛己氏

リスク分散を図っています。
経営指針を創る会での学び

同友会には大橋徳久氏(南大橋商事・中遠支部)からの誘いで入会。当初はなかなか時間が取れず、14期経営指針を創る会を受講してから本格的に参加し始めました。「初めは人前で話すことさえ不慣れで不安が一杯だったが、スタッフの皆さんの叱咤激励のおかげで会社の創業時から振り返りながら現在の状況を把握し、さらに将来像を見据えて一つ一つの言葉を紡ぐことができた」と北井氏は言います。創った経営指針はまだ社内浸透しているとは言い難いようですが、指針成文化を通して確実に考え方は変化し、今は世界のCO2排出量や再生可能エネルギー普及の情報を意識するようになったと言います。これは現在の事業展開にも生きています。

省エネルギー社会のために

「これからのターゲットはエンドユーザー」と言う北井氏。太陽光発電システムのユーザーは、買い取り期間の節目を迎えると余剰電力を自家消費に活用するパターンが多いといえます。そして災害時はもちろん、昼間発電した電気を

を夜間も利用するためには蓄電池が不可欠となります。しかし磐田地区で蓄電池を販売しているのは県外の業者がメイン。そこで地元企業にもチャンスありと見る北井氏はシェアを伸ばそうと蓄電池の販売に力を入れています。蓄電池のみならず、LED照明や省エネルギー型エアコンへの交換を推進し、省エネルギー社会の実現に貢献したいと意欲を燃やしています。今後も地元密着のサービスを展開し、地域有数の企業に成長する。そんな北井氏の思いに「キタイ」が高まります。

取材・記事：鈴木弘之氏

(税理士法人 あい会計・中遠支部)

(株)キタイ電気

〒438-0803 磐田市富丘226-7
TEL : 0538-37-1467
URL : <http://kitaidenki.com/>

設立 2009年
社員数 7名
入会年月 2016年6月
事業内容 電気設備業(電気工事)

人を生かす経営の実践で難局を乗り切ろう！ 人を生かす経営オープンセミナー開催

10月22日(木) 中同協主催「人を生かす経営オープンセミナー」がオンラインで開催され、全国から約700名、静岡から7名が参加しました。全国から4名の経営者の実践報告、加藤明彦氏(中同協人を生かす経営推進協議会代表)による問題提起、その後グループ討論を行い、最後に経営労働・共同求人・社員教育・障害者問題それぞれの委員長より行動提起がありました。当日の内容については「中小企業家さんぶん」12月5日号に掲載されますのでこちらをご覧ください。

参加者感想

難局に出会う前に勝負は決まっている

報告を通して感じたことは、新型コロナのような大きな環境変化があった時に軸となる経営指針書があると、それを起点に変化・変革できるといこととです。実践報告では、どの企業も少なからずコロナの影響を受けていましたが、今回の変化が起きる前から人を

生かす経営を実践していたことで、テレワークへの移行、売上減でも営業利益の増加と、自社を変えるスピードアップに繋がっていました。私が捉えた「人を生かす経営」を実践する4社の共通項目は、①人を生かす経営を実践する意思が指針書に盛り込まれている、②社員と情報(特に数字)を共有し社員と共に考えている、社員が会社をまわす主役である、③業務の見える化・細分化をしていることの3点です。グループ討論では、具体的にどのようかについて話し合いました。私も人を生かす経営の実践途中であり、進んでいないようにみえても実践し続けることが「いざ!」という時に効いてくる」と学びました。

梶川久美子氏(サツマ電機㈱・沼津支部)



梶川 久美子氏

若手社員フォローアップ研修を開催

会員企業から若手社員14名が受講

10月6日(火)、静岡市のもくせい会館にて、県共育委員会主催の「若手社員フォローアップ研修」を開催し、会員企業より9社14名が受講しました。須山由佳子氏(㈱キャリア・アップ・浜松支部)による研修では、報告・連絡・相談の大切さを実際のケーススタディを交えながら学びました。その後のグループ討論ではお互いの経験を共有し、自身の仕事に対する姿勢を振り返る機会となりました。最後に近藤良夫氏(近藤良夫会計事務所・浜松支部)より「皆さんは学生時代の学びを社会で実践する本番を迎えました。今日の学びを忘れず、社会人生活を楽しくみましよう」と挨拶し、幕を閉じました。



研修の様子

を社会で実践する本番を迎えました。今日の学びを忘れず、社会人生活を楽しくみましよう」と挨拶し、幕を閉じました。

野川共育委員長より

今回の研修にあたっては、委員会メンバーと開催方法を検討する中で、共育を止めてしまうことは成長する未来を止めることと同じだという思いでまとめ、感染対策を講じて対面式で開催することを決めました。研修では、悩みを受講生同士で共有する場面もあり、同じような不安や課題が共有されると「安心した

受講生感想

これからは「言った」ではなく、「伝わった」を意識して報連相をしていきたい。異業種でも同じような悩みや不安を持っていることを知ることができた。研修前は、自分のできていないこと・ないことをしっかりわかっていなかった。研修を受け、自身の現状を見つめなおし、整理することができたため、これからどう改善していけばよいか考えることができた。



静岡大学連携講座

「企業経済特論Ⅳ」が今年もスタート！

会員経営者が中小企業の魅力や経営を学生に伝える

10月7日より、第13期静岡大学連携講座「企業経済特論Ⅳ」がスタートしました。中小企業の役割や意義、またその魅力を知ってもらうことを目的に2008年より毎年開催している本講座は今年で13年目を迎えます。静岡大学と静岡同友会は2008年に相互協力協定を締結しており、その連携の一環として本講座が開講しました。講義は全15講からなり、毎回異なる会員経営者が登壇。自社事業や自身の生き様、経営哲学を語ります。就職活動を間近に控えた学生も多く「自身の就職を考える際の参考になった」「社員を大切にしている会社で働きたいと感じた」などの感想が毎年多数寄せられています。今年度は新型コロナの影響で受講人数を制限し、感染対策を講じながら開催。講義の内容を今月より毎月紹介していきます！

第1講 10月7日(水)

日本経済における中小企業の果たす役割と意義、この講座の目的

講師：遠藤 一秀氏
(遠藤科学(株)・静岡支部)



遠藤 一秀氏

中小企業白書や経済産業省等のデータをもとに民間雇用の約70%は中小企業であること、民間で創出されるGDPの50%以上は中小企業で創出されている現状を伝え、中小企業が地域経済で果たす役割を説明しました。遠藤氏は「企業の価値は利益だけでははかれない」と言います。同社の経営理念「社員の幸福」の実現にむけた付加価値の極大化、特に社員への配分と社内留保分の最大化について実際の決算書を用いて説明。「我が社は株主ではなく社員のものだと考えている。社員のために経営し、一人当たりの労働生産性、付加価値を増やして社員へ所得を配分している」と語りました。また最後に「本講座を通して中小企業経営者の個性にふれ、中小企業へ関心をもつてほしい」と学生に伝えました。

第2講 10月14日(水)

建設業界での学び

講師：石澤 浩一氏
(株)BuildEast・沼津支部



石澤 浩一氏

沼津市で店舗などの内装業を営む石澤氏。過去に景気悪化による受注減があった時も社員を守り、目標や指針を社内でも共有し、皆が同じ方向を向ける組織となりました。コロナ禍でオンラインでの面接となっても、経営理念を伝えることで会社の方向性に共感して学生が応募してくるといいます。様々な人と影響しあって働く環境の中でコミュニケーションを特に大切にしていると石澤氏。学生に「主体性をもって取り組んでほしい」と伝えます。「自分の未来をどう描くか？どのように目標を実現していくか？自身で考え、主体的に取り組んでいくことでどんな環境でも目標を達成できる」と、今まさに環境変化の中にある学生へ期待を込めて伝えました。

第3講 10月21日(水)

駅弁学講座

講師：守谷 匡司氏

(株)祇園・伊東支部



守谷 匡司氏

伊東市に本店を構え、伊東市内の駅や道の駅、商業施設でいなり寿司やお弁当を販売する(株)祇園。駅弁の歴史を踏まえながら同社の歴史とブランドディングや経営戦略を学生に伝えました。1885年に登場し昭和の最盛期には400社あった駅弁屋は平成の後半には100社に減少。そして、残り100社のうち100年企業が約7割という老舗業界、守谷氏は「長くやっているから老舗ではなく、一日一日お客様に支持されてきた積み重ねた結果が老舗になる」と言います。また、自社の目指す企業像については「ブランドは会社ブランドとして発信するのではなく、お客様の認識でブランドとして認められるようになる。『伊豆といった祇園のいなり』と多くの人に認めてもらえるようにしたい」と話しました。

第4講 10月28日(水)

自由と正義についてー弁護士の役割

講師：長野 哲久氏

(弁護士法人 長野法律事務所・浜松支部)



長野 哲久氏

弁護士の役割について、刑事弁護の目的は「冤罪を生まない、生ませない」とことだと話しました。真実とは異なることを言わされ、嘘の自白調書がつくられることで冤罪が起きてしまうケースがあります。冤罪を防ぐためには弁護士が依頼者の主張を信じて方針を決め、また自白していても本当かどうか検証することが大切だと話しました。また、ものごとを判断する価値基準として自由と正義のバランスを考えることが非常に大切だと長野氏は言います。憲法では様々な自由や権利が保障されていますが、権利同士は時にぶつかり合うこともあり、このバランスをとることが大切です。最後に正義について「もし上司が不正をしていたら見逃しますか?」と学生に問いながら、ぜひ「ダメなことはダメと言える自分をつくってほしい」と語りました。

オンラインとリアルの融合

静岡と富士の2会場をつなぐ

10月イントロセミナー

10月23日(金)に同友会会議室・ZOOM・富士ロゼシアターの3拠点を結んでイントロセミナーを開催しました。同友会会議室より10名、ZOOMより7名、富士サテライト会場より9名が参加し、うち4名のオブザーバー参加がありました。今回初めての試みとしてサテライト会場を富士に設営。富士支部・富士宮支部の会員が参加し、富士地域のオブザーバー参加もありました。



富士サテライト会場の様子



山本 健二氏

山本健二氏(有 日本スエーデン・静岡支部)より自社のあゆみと同友

会での学びについて報告。靴の抜型をつくる事業をメインに行っていた同社。しかし靴の生産拠点の海外移転から靴メーカーの廃業が相次ぎ、新たな柱として2005年に自社ブランド事業の革製品製造販売を始めました。2016年に同友会に入会、第13期経営指針を創る会(以下、創る会)に参加しました。現在創る会会長を務めている山本氏は、同友会に入会して、自事業の定義について真剣に考えるようになった。

たといいます。靴の抜型メーカー、革製品製造業を経て辿り着いた現在の自事業の定義は「ものづくりとデザイン業」。時代に合わせて、自事業定義の領域を広げたり変化させていくことが大切だと話しました。オブザーバーからも前向きな感想を頂くことができ、仲間づくりの場が広がったイントロセミナーとなりました。富士に引き続き、11月27日(金)のイントロセミナーでは藤枝市文化センターにサテライト会場を設営予定です！志太・榛南地域の会員の方はぜひサテライト会場からお知り合いの経営者の方と一緒に参加ください！

11月 16日(月)	第23回女性経営者全国交流会 (オンライン) (13:00 ZOOM) 女性経営者交流会 (15:30 同友会事務局)
17日(火)	出会いと学びと交流の場 お昼に語ろうオンライン交流会 (12:00 ZOOM) 第17期経営指針を創る会 第7講 (19:00 ペガサート&ZOOM)
18日(水)	グループ長研修 (18:30 藤枝文化センター&ZOOM)
19日(木)	中遠例会 (19:00 ワークピア磐田&ZOOM) 浜松例会 (19:00 クリエイト浜松&ZOOM)
20日(金)	特別支援学校の先生と話せる！ オンライン会社紹介&交流会 (15:00 ZOOM)
25日(水)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)

26日(木)	県広報情報化委員会 オープン勉強会 (18:30 ZOOM)
27日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」 (19:00 同友会事務局&藤枝文化センター&ZOOM)
12月 3日(木)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
8日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
9日(水)	御殿場忘年例会 (19:00 ZOOM) 正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
11日(金)	富士宮例会 (19:00 ZOOM)

《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



故 望月 光男氏
望月光男会計事務所
静岡支部
1959年8月2日生
(満60歳)
1993年入会

故 望月光男さんのご逝去を悼んで

望月光男さんの突然の訃報に接し謹んでお悔やみ申し上げます。新聞の訃報欄にその名前を見つけたときに、同姓同名、住所も近いけれど、まさか本人だとは信じがたく、望月会計事務所の職員に電話し、所長本人だと知ったときは、驚きを隠せませんでした。会計事務所の職員にも体調が悪かったことを知らせずに、職務をこなしていたそうで、周りも驚くばかりです。今から25年以上前のことになりますが、弊社の顧問税理士になってもらってからの付き合いで、同友会にも光男さんの紹介で入会しています。いつも、大きな声で、明るく、前向きな言葉を発していた光男さん。タバコを吸って、お酒を飲んで、カラオケを歌っていた光男さん。周りを巻き込んで、突っ走っていく、すごいパワーの持ち主の光男さん。「できるからやるんじゃない、やるからできるんだ」というチャレンジ精神旺盛な言葉を好んで使っていました。この言葉のように、私たちは良い経営者を目指して挑戦していきます。いつまでも我々を見守っててください。

森下 昌治氏 (株式会社森下商店・静岡支部)



故 横山 賢三氏
(有)三和化学
榛南支部
1946年5月26日生
(満74歳)
1992年入会

故 横山賢三さんのご逝去を悼んで

突然の訃報に驚愕しています。いつも笑顔の横山賢三さんの在りし日の姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。1997年「おい、増田君。同友会に入ったら？」と声を掛けてくれたのが賢三さんでした。当時の同友会は、まだ70人前後の会員数で、支部長を本橋政男さんが務めておられた時期でした。私は賢三さんからのお誘いならと、直ぐに同友会への入会を決めました。賢三さんはとても器用な物づくりの達人で、自分の身体よりも仕事を優先する、仕事とお酒と水戸黄門が大好きな、人情に厚い人でした。また二人のお孫さんを大変に可愛がられていて、将来は会社の後継ぎとして期待されているようでした。今想い出すと、いつもニコッと笑って、美味しそうに芋焼酎を呑んでいる賢三さんの姿が目に見えます。余りにも足早に旅立ってしまった賢三さん。とても残念です。今は少しゆっくりしてください。本当にお世話になりました。さようなら。そしてありがとうございました。

増田 武氏 (五大産業(株)・榛南支部)